



## 取扱設置説明書

このたびはビクター赤外線ワイヤレスマイクレシーバー

WT-PH31/WT-PH32を

ご購入あげいただきありがとうございます。

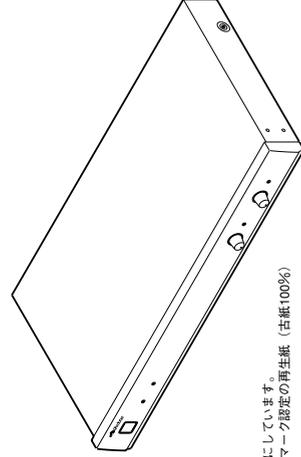
### 特長

- 赤外線方式  
赤外線により音を送受信しますので、電波ノイズの影響が少なく、隣接した部屋での混音や盗聴などの心配がありません。
- 最大4本のマイクを同時使用可能  
赤外線ワイヤレスマイクレシーバーWT-PH31とWT-PH32の2台を使用して、最大4本のマイクを同時に使用できます。
- 20m四方の部屋で使用可能  
センサーカプラーWT-D82/D84を使用して、最大4個の赤外線ワイヤレスマイクセンサーWT-PS31/PS32を接続できます。これにより、赤外線ワイヤレスマイクWM-PH711/PH712/PH713/PH714を約20m四方の部屋で使用できます。タイプピン型の赤外線ワイヤレスマイクWM-PH81/PH82の使用可能範囲はWM-PH81/PH82の取扱説明書をご覧ください。

## 赤外線ワイヤレスマイクレシーバー

### 取扱設置説明書

# 型名 WT-PH31 WT-PH32



私たちは環境・資源を大切にしています。  
この取扱設置説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙100%）  
を使用しています。

—ご購入あげありがとうございます—

△ご使用前に  
この取扱設置説明書（と別冊の安全上のご注意）をよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。  
製造番号は保証書と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。  
また、その製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

### 安全上のご注意

■ 別冊の「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

△注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 目次

チャンネルと対応機種の一覧	4
設置及び取扱い上のご注意	4
パッケージの内容	5
各部の名称とはたらき	5
前面部	6
背面部	6
接続のしかた	6
2 チャンネル使用時の接続例	7
4 チャンネル使用時の接続例	7
センサーカブラー WT-D82 を使用した接続例	7
ケーブルの準備	7
設置のしかた	8
センサーカブラーの設置	8
赤外線ワイヤレスマイクセンサーの設置	8
赤外線ワイヤレスマイクセンサーの受光可能範囲	9
赤外線ワイヤレスマイクレジシーバーをラック(EIA 1U)に設置する場合	9
操作のしかた	10
仕様	10
保証とアフターサービス	11

## チャンネルと対応機種の一覧

本機を使用した赤外線ワイヤレスマイクシステムチャンネルと各機種の関係は以下の通りです。

チャンネル	赤外線ワイヤレスマイク (マイク)	赤外線ワイヤレスマイク (マイク)	赤外線ワイヤレスマイクレジシーバー (レジシーバー)	赤外線ワイヤレスマイクセンサー (センサー)	赤外線ワイヤレスマイクセンサー (センサー)	センサーカブラー
1	WM-PH711 マイク1 (マイク)	WM-PH81 マイク1 (マイク)	WT-PH31 チャンネル1と2に 対応します	WT-PS31 チャンネル1と2に 対応します	WTC80 チャンネルに 対応します	WT-D82または WT-D84 チャンネルに 対応します
2	WM-PH712 マイク2 (マイク)	WM-PH81 マイク2 (マイク)				
3	WM-PH713 マイク3 (マイク)	WM-PH82 マイク3 (マイク)	WT-PH32 チャンネル3と4に 対応します	WT-PS32 チャンネル3と4に 対応します		
4	WM-PH714 マイク4 (マイク)	WM-PH82 マイク4 (マイク)				

(注)本システムはチャンネル1に設置するマイクをマイク1と呼びます。マイク2～マイク4についても同様です。

## 設置及び取扱い上のご注意

- **使用範囲**  
本システムは、赤外線を使用して音声を送信しています。安定して受信できる部屋の大きさの目安は、センサーを4個使用して20m四方までです。  
マイクの種類や設定によって使用できる部屋の大きさが異なります。各マイクの取扱説明書をご確認ください。
- **以下のような場合は、音が途切れたり、雑音が出るなどの動作不良の原因となります。**
  - マイクとセンサーの間に障害物がある場合。
  - センサーに日光、蛍光灯、プロジェクター、OHP等の強い光が当たっている場合。
  - センサーに至近距離(1m以内)から、リモコン信号を直接送信した場合。
  - センサーはリモコン受光部の近くを避けて設置してください。
  - マイクとセンサーを2m以内の近距離で使用すると、ノイズが発生する場合があります。
  - その場合は、センサーの感度切戻スイッチを「低」に設定します。詳しくは**WT-PS31/PS32**の取扱説明書をご覧ください。
  - 同じチャンネルのマイクを2本同時に使用した場合。
  - マイクとレジシーバーの周囲温度差が、20℃以上ある場合。
- **以下の環境下では使用できません。**
  - 屋外。
  - 光LANシステム等の他の赤外線機器が設置してある場所。
  - 水銀灯の設置してある場所。
  - プラスマディスプレイパネル(PDP)が設置してある場所。
- **センサーの配線について**  
センサーは指定のケーブル及び長さで接続します。特に指定以外の長さを使用すると、十分な性能を得られない場合があります。詳細は6ページの「接続のしかた」をご覧ください。
- **以下の場所には設置しないでください。**
  - 調理台の近く等、油、蒸気、熱の発生する場所
  - モーター、エンジン、スピーカー等の振動源の近く
- **清掃する**  
清掃する場合は、乾いた布か、水に濡らした布をよく絞ってから拭いてください。  
中性以外の洗剤、アルコール、シンナー類は、表面の塗装や印刷等が剥がれる恐れがありますので使用しないでください。
- **省エネについて**  
節電のため、使用しない時は電源を切ってください。

本システムの設置および配線と接続は、お買いあげの販売店におまかせください。

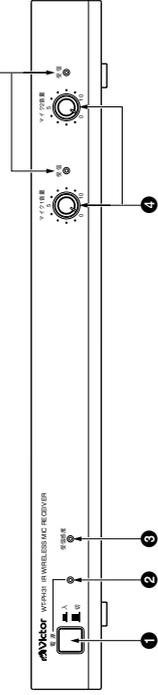
## パッケージの内容

パッケージの内容は以下の通りです。開梱の際に必ずご確認ください。

品名	数量
赤外線ワイヤレスマイクレシーバー WT-PH31/PH32	1
取扱設置説明書 (本書)	1
安全上のご注意	1
保証書	1
サービス窓口案内	1
ブラケット	2
ネジ (M5)	4

## 各部の名称とはたらき

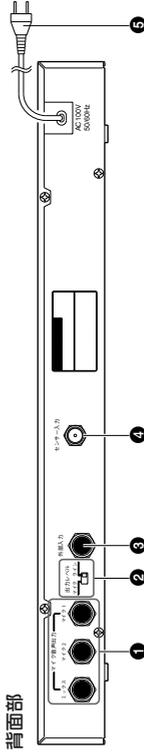
### 1. 前面部



- ① **「電源」ボタン**  
ボタンを押し込むと電源が入り、再び押すと切れます。
- ② **電源インジケータ**  
電源が入ると点灯します。
- ③ **「受信感度」インジケータ**  
センサを設置する時の目安として使用します。センサがマイク信号の受信に必要な量の赤外線を受光している時に点灯します。点灯していない場合は、赤外線の受光量が不足しており、正常に動作しません(9ページ参照)。
- ④ **「マイク 1/2, 3/4 音量」調節つまみ**  
マイク音声出力の音量が調整できます。
- ⑤ **「受信」インジケータ**  
マイク信号を受信すると点灯します。

## 各部の名称とはたらき

### 2. 背面部

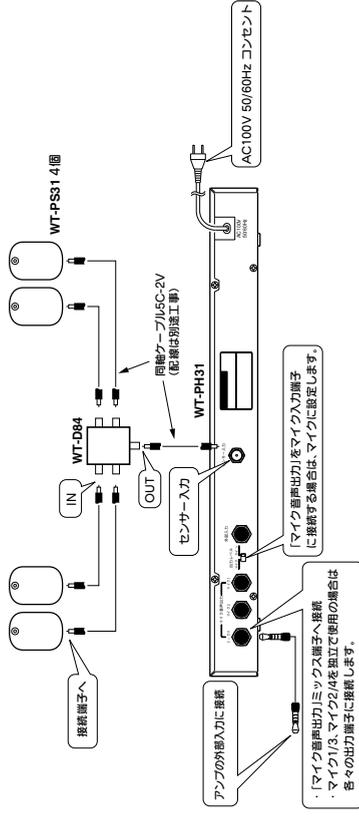


- ① **マイク音声出力(マイク1/3, マイク2/4, ミックス)**  
マイク1/3 : WT-PH31はマイク1, WT-PH32はマイク3の音声出力されます。  
マイク2/4 : WT-PH31はマイク2, WT-PH32はマイク4の音声出力されます。  
ミックス : WT-PH31はマイク1とマイク2, WT-PH32はマイク3とマイク4の音声かミックスされて出力されます。
- ② **出力レベル(マイク/ライン)**  
マイク音声出力(マイク1/3, マイク2/4, ミックス)の出力レベルを切り換えます。通常はライン側でご使用ください。マイク音声出力(マイク1/3, マイク2/4, ミックス)をアンプのマイク入力端子に接続する時は、マイク側に切り換えて使用ください。  
工場出荷時はライン側に設定しています。
- ③ **外部入力**  
ミックス出力と同時に出力するものを入力します。マイク1~4の4本同時使用時にお使いください。
- ④ **センサ入力**  
センサケーブル WT-D84/D82の出力を接続します。接続できるセンサケーブルの数は1個までです。ただし、WT-D82は7ページ3-2. の場合のみ3個まで接続できます。
- ⑤ **電源コード**  
電源コンセントAC100V 50/60Hzに接続します。

## 接続のしかた

- センサは最大4個まで接続できます。
- センサとレシーバーの接続は同軸ケーブル5C-2Vを使用します。

### 1. 2チャンネル使用時の接続例



### ご注意

- センサはセンサケーブルを使用して接続します。直接レシーバーに接続しないでください。
- センサケーブルとセンサを接続する4本のケーブルは、長さ±8mの範囲で合わせてください。
- ケーブルの高さは100m以下で接続してください。
- ケーブルを配線する際は、他の機器のケーブルと束ねないでください。ケーブルを近づけただけでノイズが発生する等の影響を受ける場合があります。

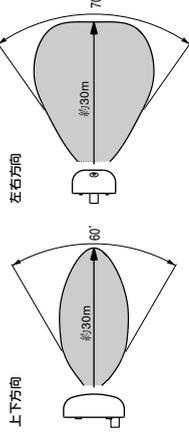


## 設置のしかた

お買いあげの販売店におまかせください。

### 3. 赤外線ワイヤレスマイクセンサーの受光可能範囲

●受光可能範囲は上下左右60°～70°の放射状で、到達距離は正面光軸上で約30mです。



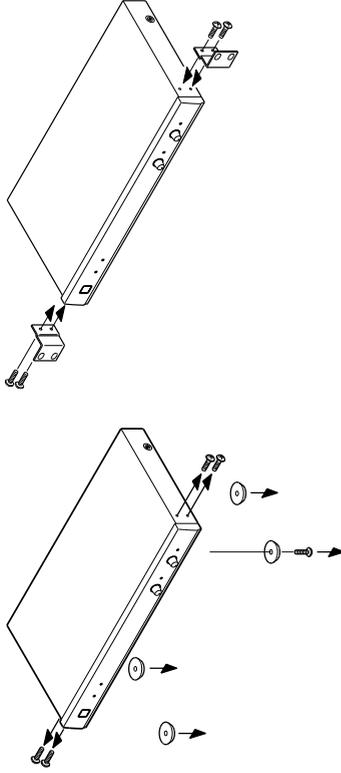
- センサーはマイクを使用する位置から見通せる場所で、かつ対角線上に設置すると有効です。
- マイクをどの場所で使用してもレシーバーの「受信感度」インジケータが点灯することを目安にセンサーの設置場所、向き、角度を調整してください。
- 「受信感度」インジケータが点灯していない場合は、ノイズが発生したり、音声が出ない恐れがあります。
- 安定して受信できる部屋の大きさは約20m四方までです。
- マイクの種類や設定によって使用できる部屋の大きさが異なります。
- 各マイクの取扱説明書でご確認ください。
- 部屋の状況により到達距離は変化します。

#### ご注意

1. マイクの電源を切った状態でレシーバーの「受信感度」インジケータが点灯していないことを確認ください。
2. センサーは、センサーが電波や光の外乱ノイズにさらされている恐れがあります。そのような環境への設置は避けてください。
3. センサーの設置状態はマイク音声で最終確認してください。「受信感度」インジケータが点灯しているも部屋の状況によりノイズが発生することがあります。

### 4. 赤外線ワイヤレスマイクレシーバーをラック(EIA 1U)に設置する場合

- 以下の図のようにレシーバーに添付のブラケットを取り付けます。
  - ラックに取り付ける時は添付のネジ(M5)4本をご使用ください。
- ① 左右4ヶ所のネジとフット4個を取り外します。
  - ② ①で取り外したネジを使用し、ブラケットを固定します。



#### ご注意

ブラケットの固定に使用するネジは必ず①で取り外したネジを使用してください。

## 操作のしかた

1. 「接続のしかた」に従い、センサー、センサーケーブル、アンプ等が正しく接続されていることを確認します。
2. レシーバー及びアンプ等他の機器の電源を入れます。センサーのインジケータが点灯します。
3. マイクの電源を入れます。マイクの電源表示インジケータとレシーバーの受信インジケータが点灯します。
4. マイクに音声を入れ、レシーバーの「マイク1/2/3/4 音量」調節ソリッドミで音量を調節します。調節ソリッドミの位置が7～10の時に、マイクに大きな音声を入力するとレシーバーのマイク音声出力が落ちる場合がありますのでご注意ください。

#### 赤外線ワイヤレスマイクで使用上の注意

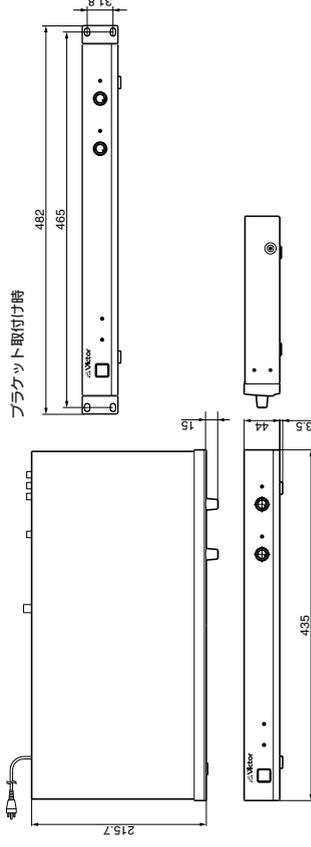
1. 赤外線信号は、マイクの下部及び電源スイッチ裏側の赤外線発光部より送信されます。発光部及びセンサーの表面を手で覆うと受信不良となります。また表面が汚れている場合も受信不良となりますので、汚れた場合は柔らかい布で乾拭きするか、水に濡らした布をよく絞って拭いてください。
2. マイクとセンサーの間に障害物があったり、人が横切ったりすると、ノイズが発生したり、音が届かなくなり、音が途切れたりすることがあります。また、太陽光などの強い光のそばでは影響を受け、ノイズ、音途切れを生ずる事があります。
3. マイクを2～4チャンネル同時に使用される時は、チャンネル1/2/3/4を各1つご使用ください。同じチャンネルを複数同時に使用すると、レシーバーに正常な受信ができません。
4. 赤外線方式のリモコンをセンサーに向けて操作すると、ノイズが発生したり、音が途切れたりすることがあります。センサーはリモコン受光部の近くを避けて設置してください。

## 仕様

### ● WT-PH31/PH32 赤外線ワイヤレスマイクレシーバー

- 使用環境：温度 5℃～35℃、湿度 10%～85% (非結露)
- 受信チャンネル数：2
- 受信周波数：WT-PH31：チャンネル1：2.06MHz、チャンネル2：2.56MHz  
WT-PH32：チャンネル3：3.20MHz、チャンネル4：3.70MHz
- トーンスケルチ：32.768kHz
- 出力レベル：マイク：3kΩ以下、ライン：1kΩ以下
- 出力インピーダンス：マイク：-10dBs/10kΩ負荷、不平衡(各チャンネルおよびミックス出力とも)  
：-36dBs/10kΩ負荷、不平衡(各チャンネルおよびミックス出力とも)  
：-50dBs/600Ω負荷、不平衡(各チャンネル出力のみ)  
：-42dBs/600Ω負荷、不平衡(ミックス出力のみ)
- 電源：AC100V、50/60Hz
- 消費電力：8W
- 質量：2.1kg

### ● 外形寸法 (単位 mm)



※本機の仕様および外形は、改善のため予告なく変更することがあります。

## 保証とアフターサービス

### 保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお取りください。  
〔お買い上げ日・販売店名〕等の記入をお確かめの上、  
記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

### 補修性能部品の最低保有期間

赤外線ワイヤレスマイクレシーバーWT-PH31/WT-PH32  
の補修性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8  
年です。

この期間は、生産者の指導によるものです。

補修性能部品とは、その製品の機能を維持するため  
に必要な部品です。

### 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓  
口にお問い合わせください。

### 修理を依頼されるときは

異常のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。  
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にて修理を  
ご依頼ください。

#### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

#### ご連絡していただきたい内容

品名	赤外線ワイヤレスマイクレシーバー
型名	WT-PH31/WT-PH32
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

#### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により  
修理させていただきます。

#### 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正しく修復するための料金を 得ます。技術者の人件費、技術教育費、測定機器 等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に 付帯する部材等を含む場合があります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費 用です。別途、駐車料金をいただく場合がございます。

### 出張修理

お客様ご相談センター

東京	〒113-0033 東京都立野区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル <b>☎ (03) 5684-9311</b> [代表]
大阪	〒543-0028 大阪府天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル <b>☎ (06) 6765-4161</b> [代表]



システム事業部

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243 [ダイヤルイン]

●この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

便利メロ	お買い上げ店名	☎ ( ) -
------	---------	---------